

女性が活躍する農協

農協における女性の登用と活躍のポイント

農協役員の要件

- 農協役員は法律に基づく規定に沿って選出され、①～③の要件等を満たすことが求められている。
- 特に、平成28年に新たに規定された③の配慮規定を踏まえ、女性の登用を積極化する動きが広がっている。

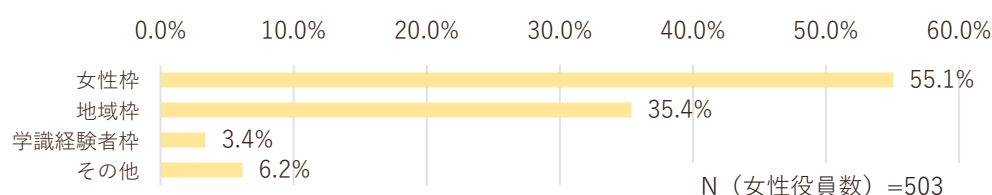
要件等

- ① 理事の定数の少なくとも2/3は正組合員であること。
- ② 定数の過半数は、認定農業者、実践的能力者、認定農業者に準ずる者のいずれかの者であること。
- ③ 年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮すること。
(→青年や女性の積極的な登用に努めること)

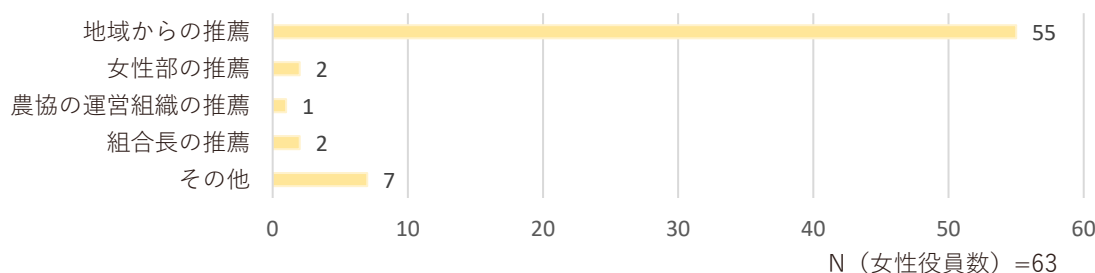
女性役員の選出の状況

- アンケート調査(※)の結果、女性役員の選出枠は、「女性枠」が約55%と最も多く、次いで「地域枠」が約35%。
- 女性枠を設けずに女性役員を登用している農協は17あり、この場合、「地域からの推薦」による女性役員の登用が最も多くなっている。

女性役員が登用された選出枠 (複数回答)



女性枠で役員を登用していない農協における女性役員の推薦者 (複数回答)



※「農業協同組合における女性役員登用に関するアンケート」(女性役員が1名以上登用されている農協を対象に実施。回答農協数: 119件、調査時点: 令和3年12月末。調査の詳細はP1参照)

農協における女性の登用と活躍のポイント

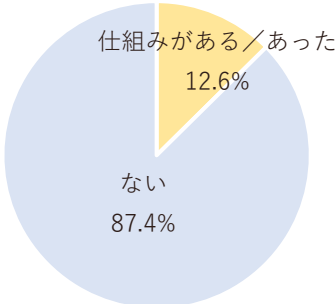
参与制度の導入の状況

- アンケート調査の結果、参与に選出された者が“翌期以降役員に就任した”と答える農協は約67%に上っている。
- 特に女性登用の取組をこれから進める農協においては、女性役員の候補者を増やし、今後の登用につなげるステップとして、参与への任命が効果的であると考えられる。

※ 参与とは、各農協の内規等に基づき設置される者であり、理事会に出席し、事業運営及び業務執行等に関し、意見を述べることができるが、採択には加わらない者をいう。

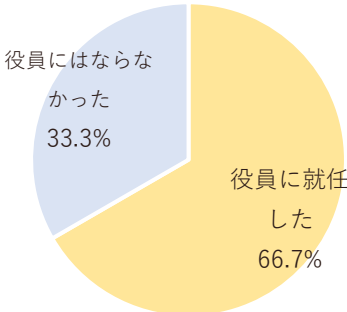
参与制度の状況

Q.今後女性の役員として登用することを前提に、役員の活動に参与、オブザーバー、アドバイザー等として参加するような仕組みがあるか



N（農協数）=119

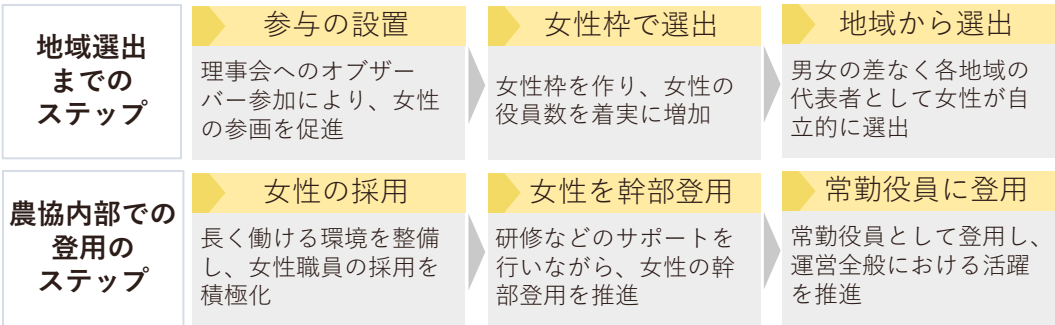
Q.参与等として参加した人は、翌期以降に役員に就任したか



N（参与の仕組みがある／あった農協数）=15

農協における女性登用のステップ

- 各地域において、女性の参画状況に応じたステップを踏んだ取組を進めていき、将来的には、男女の差なく、各地域の代表として選出されることが期待される。
- 加えて、農協の内部で実務経験を重ねて、幹部職員となり、常勤役員として事業運営全般で活躍できるような女性を育成していくことも重要。



農協における女性の登用と活躍のポイント

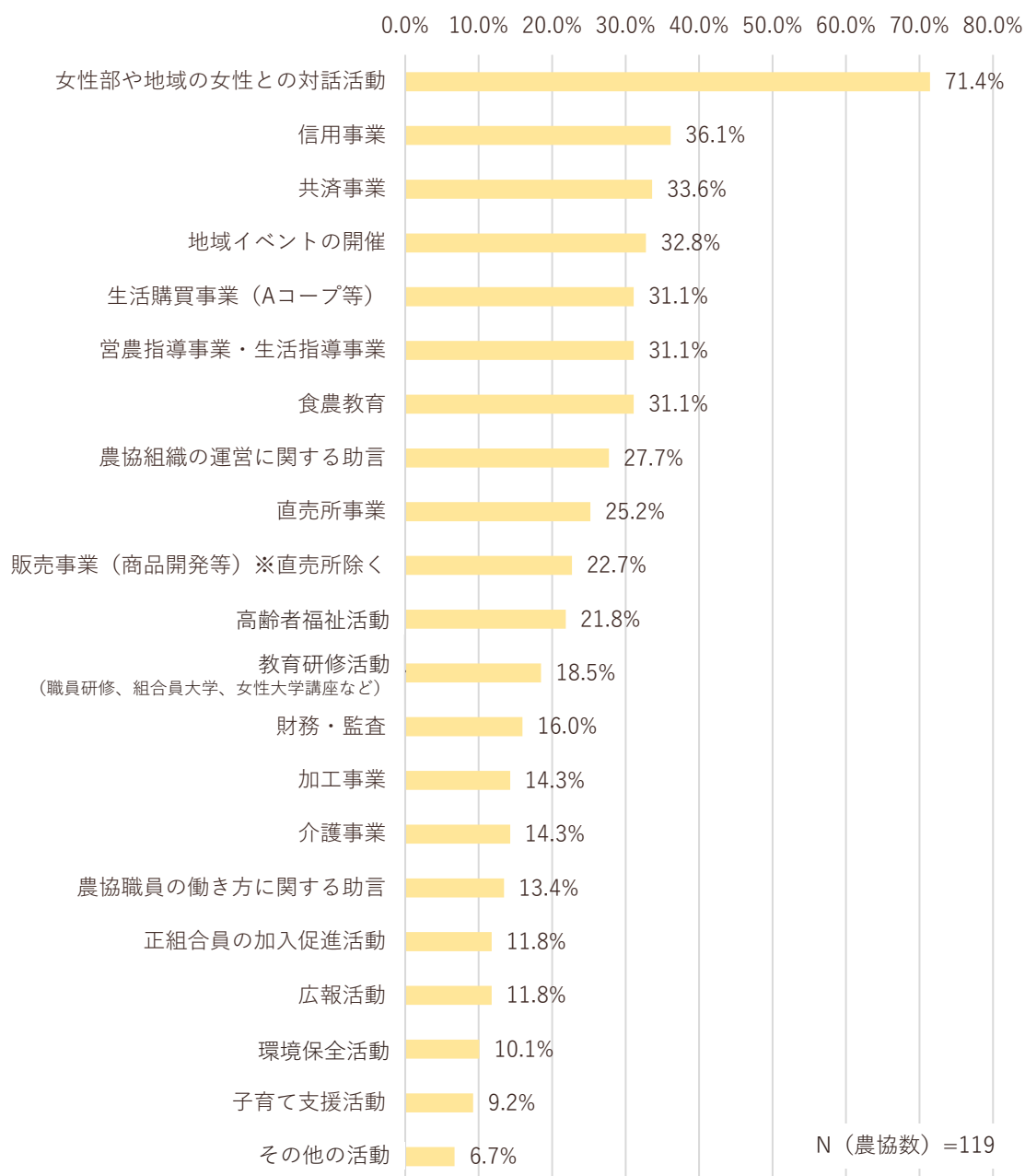
女性役員の活動内容

- アンケート調査の結果、女性役員の主な活動として、“女性部や地域の女性との対話活動”が約71%と最も多い。

女性役員が主体的に関わっている活動分野

Q女性役員が主体的に関わっている活動分野についてご回答ください（複数回答）。

※ ここでの「主体的に関わっている」とする活動は、月次の定例理事会での決議への参加といった全員が必ず行う活動ではなく、個別の委員会等における活動を指します。



農協における女性の登用と活躍のポイント

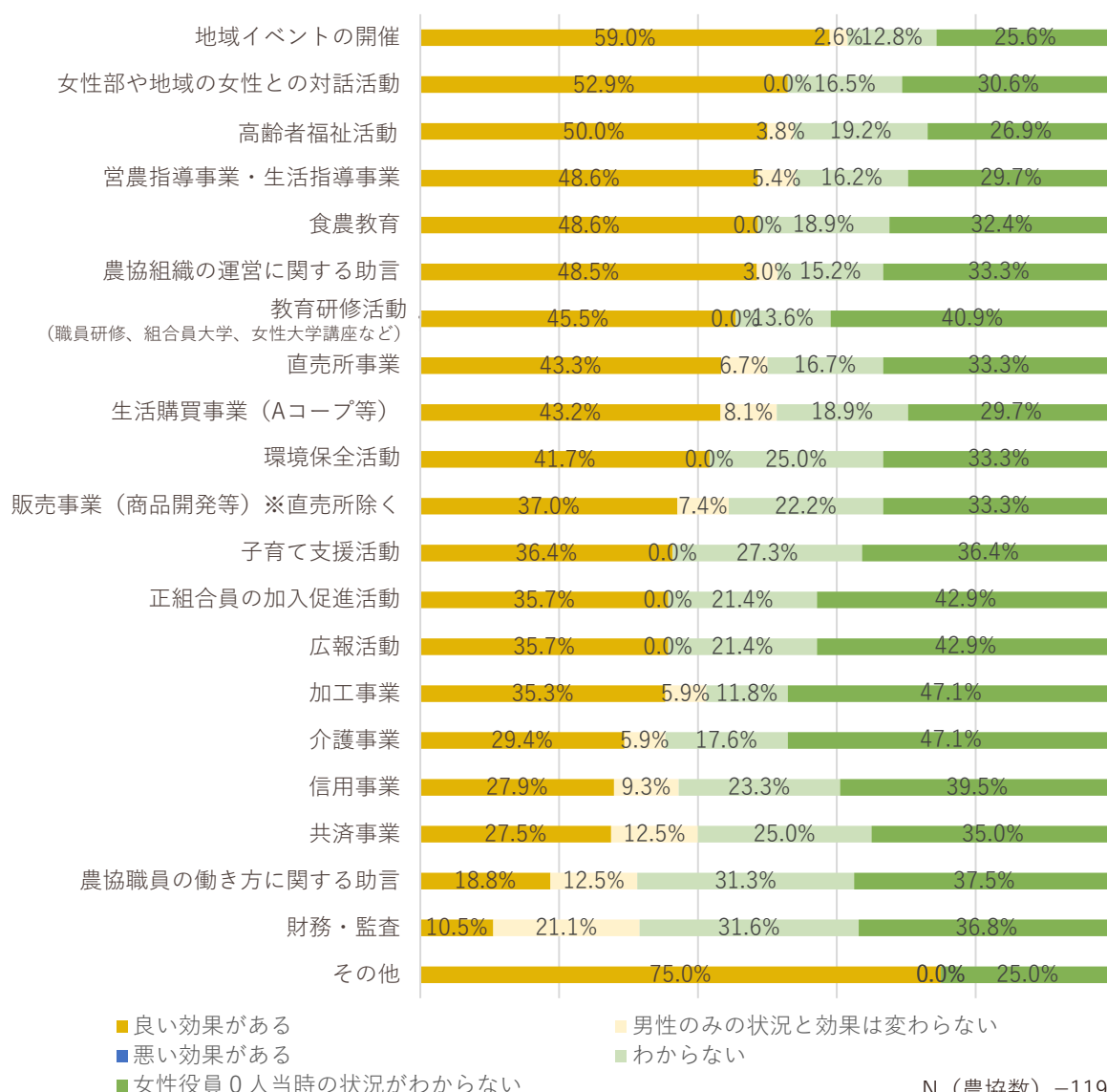
女性役員登用がもたらす効果

- アンケート調査の結果、女性役員がゼロであったときと比較すると、様々な事業において、女性登用による良い効果を実感されていることが明らかになっている。
- 特に、地域イベントの開催や女性部等との対話活動で良い効果があると回答されている。

女性役員の活動によって生じた効果の状況

Q 女性役員が0人の時と現在を比較して、組織や事業に良い効果があると感じますか。

※P7で回答した活動分野ごとの効果について、回答者の主観でご回答ください。



農協における女性の登用と活躍のポイント

～登用に向けた3つのステップ～

女性登用の推進と活躍に向けた支援のフロー

- 女性役員の登用には、地域や女性自身が女性活躍への意識が高いことや、農協組織における女性活躍が進展していることなどの「土壌づくり」がベースとなる。
- 土壌を踏まえ、女性登用の「仕組み」を作り、登用後も研修等の「人づくり」により、長く活躍できる支援が重要である。

土壌 づくり

地域の意識

- 組合員に対する女性登用の意義の周知等により、地域全体で女性活躍への理解が進展している

…JA新はこだて、JAむかわ、JAあいち尾東、JAえひめ未来、JAあいら など

女性自身の意識

- 人前に出ることへの自信や、地域への貢献意欲などの意識がある

…JAむかわ、JAえひめ未来、JA糸島 など

農協組織における女性の活躍

- 女性活躍への理解醸成や働き方改革の推進、女性職員の登用が進められている

…JAむかわ、JAいちかわ、JA内浦町、JAあいち尾東、JAあいら など

女性候補者と農協の接点強化

- 女性の正組合員の加入推進や地域の女性の活動支援などを通じ、女性の参画意識を高めている

…JAようてい、JA松本ハイランド、JAあいち尾東、JA糸島、JAあいら など

仕組み づくり

参与の設置

- 女性が役員の役割や理事会の雰囲気を理解し、農協運営に参画するきっかけを作る

…JA新はこだて、JAえひめ未来、JAあいら など

女性枠の設置

- 女性が役員としての経験を積めるよう、女性向けの役員枠を設定する

…JA新はこだて、JAようてい、JA紀南、JA糸島 など

地域枠での女性登用

- 性別の区別なく、地域や組織の代表として登用する

…JAあいち尾東、JAいちかわ、JA松本ハイランド、JAむかわ、JA紀南 など

役員の選考委員に女性を選出

- 女性が選考委員になり、候補者の理解を得るための説明などで活躍する

…JA紀南 など

人 づくり

女性役員が活躍しやすい雰囲気づくり

- 男性が多い会議の場でも、安心して発言できるような声掛けなどを行う

…JAいちかわ、JAようてい など

研修の実施

- 農協運営の専門事項に関する研修を実施する

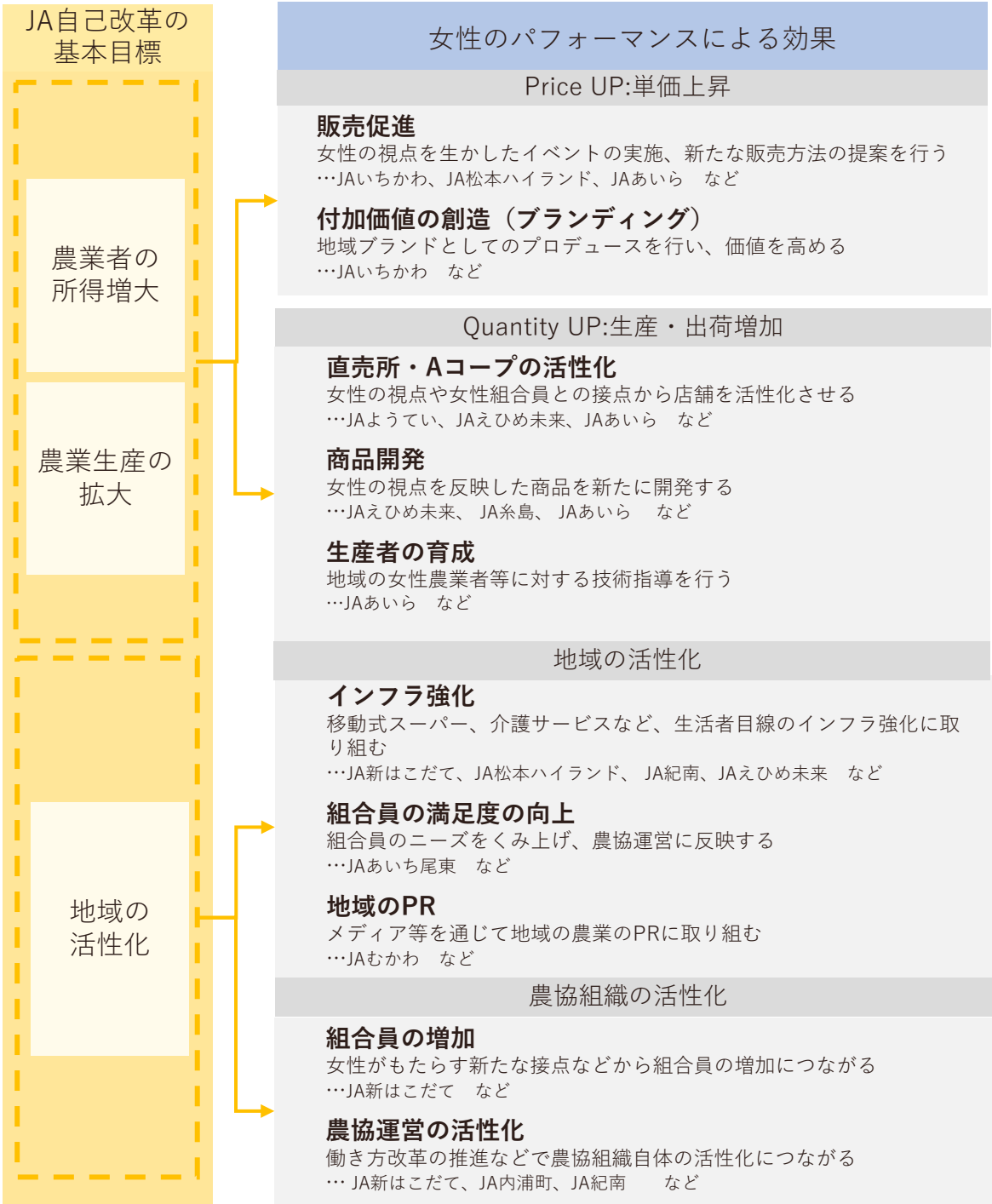
…JA松本ハイランド など

農協における女性の登用と活躍のポイント

～登用の効果～

女性登用がもたらす効果

- 女性の登用により組織に新たな視点が加わり、男性だけでは持ちえなかった経験やリソースがもたらされる。
- 結果として農協の自己改革目標達成に資する効果が期待される。



女性が活躍する農協の事例

1. 「参与制度」を導入し、着実に登用を推進 ----- P12
JA新はこだて（北海道）
2. 中期経営計画に明記し女性の継続的な登用を実現 ----- P13
JAようてい（北海道）
3. Uターン就農の女性理事が地域PRで活躍 ----- P14
JAむかわ（北海道）
4. トップダウンで女性の登用や活躍を後押し ----- P15
JAいちかわ（千葉県）
5. 人材育成を推進し、女性活躍JAの先駆けに ----- P16
JA松本ハイランド（長野県）
6. 内部登用で常勤の女性理事が活躍 ----- P17
JA内浦町（石川県）
7. 女性登用の必要性を浸透させ、地域枠から6人登用 ----- P18
JAあいち尾東（愛知県）
8. 組合員の生活や職員の働き方改革に貢献 ----- P19
JA紀南（和歌山県）
9. 女性の消費者視点を活かした直売所の運営 ----- P20
JAえひめ未来（愛媛県）
10. 女性部へのサポートが女性のJA参画を推進 ----- P21
JA糸島（福岡県）
11. 新商品の提案や農業者の育成により売上増加 ----- P22
JAあいら（鹿児島県）

1. JA新はこだて(北海道) 「参与制度」を導入し、着実に登用を推進

基本情報 ※2021年1月末時点

本所所在地：北海道北斗市

正組合員数(うち女性数)：2,036人(170人)

役員数(うち女性数)：理事26人(2人)、監事5人(0人)

特徴

北海道南西部の渡島半島一円を管轄し、比較的温暖な気候下で野菜や花卉、水稻の栽培や酪農畜産などを実施。

取組概要

- 理事へのステップアップとして「参与制度」を導入。女性参与が自信をつけ、翌改選期に理事に就任した。
- 女性理事から職員の働き方改革の意見を得て組織活性化につながった。

女性登用・活躍までのポイント

女性登用の意義の周知

専業農家が多く女性も農業の主軸。女性が理事をする余裕はない。



組合員



JA幹部

生産と生活の両面を担う女性の声をJA運営に反映させたい。

- ・ 女性登用に向け、2013年から常勤役員と女性部との意見交換を開始。
- ・ 毎年の組合員懇談会で、女性登用の意義や、登用には地域、家族の協力が必要であることを周知。

参与制度の導入

- ・ 2018年の改選で女性参与2名を導入。当初は、役員登用を検討したが、女性の負担に配慮し、まずは参与にした。

参与から理事への就任

- ・ 翌期の改選で女性参与2名が理事に就任。
- ・ 理事や参与への就任時、常務や総務部長が家族にも説明を実施。

参与期間中に理事になる自信がついた。



女性理事

JA幹部から家族への説明で、家族の理解がスムーズに得られた。

女性の活躍とその効果

職員の働き方改革

家の農業のパート管理を長年担当。子育てをしながら働ける環境を作る必要性は、農家もJAも同じ。



女性理事

活動内容

- ・ 女性理事から、これまで少なかった職員の働き方や産休・育休の取得推進に関する意見が積極的に出されている。

効果：地域の活性化（JA運営の活性化）

- ・ 職員の働き方改革を通じて、JA運営の活性化に寄与。

女性の正組合員への加入推進

活動内容

- ・ 女性理事がネットワークを生かしながらJA参画の意義を広く訴えている。

効果：地域の活性化（組合員の増加）

- ・ 女性の加入推進により、JA運営の活性化に寄与。

野菜の移動販売

活動内容

- ・ 女性理事が参与時代から、女性部と過疎地域での野菜の移動販売・無人販売を実施。

効果：地域の活性化（インフラ強化）

- ・ 過疎地域の高齢者等の生活の質の向上に貢献。

2. JAようてい（北海道） 中期経営計画に明記し女性の継続的な登用を実現

基本情報 ※2021年12月時点

本所所在地：北海道倶知安町

正組合員数(うち女性数)：1,610人(439人)

役員数(うち女性数)：理事21人(3人)、監事4人(0人)

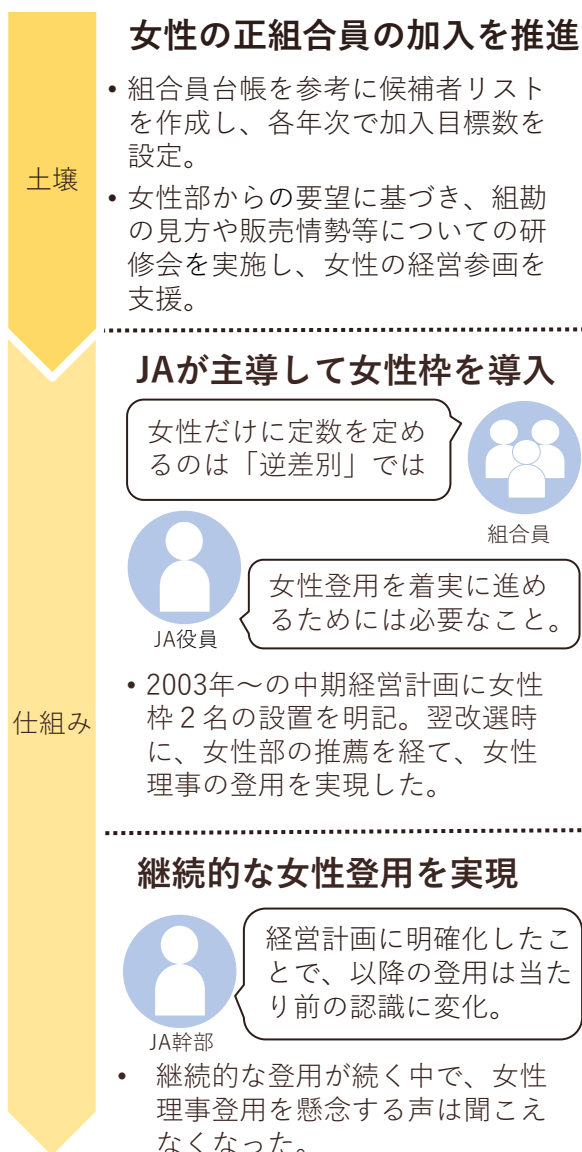
特徴

1997年の合併で9町村8JAが合併し、JAようていが誕生。トップブランドの馬鈴薯の他、大根、人参、生乳、米などが生産されている。

取組概要

- 女性理事の登用に理解を得づらい状況の中、**JAが主導的に働きかけを行い、中期経営計画に女性枠を明記した**。登用後は**女性理事が「当たり前」**という状況に変化していった。
- **Aコープにおける接客、陳列、包装等について、女性理事からの積極的な質問や意見が出され、改善が進んでいる。**

女性登用・活躍までのポイント



役員の声かけで安心し参加

ひと

多様な立場から議決に参画することに意義がある。



JA役員

- 不安を持つ新任女性理事に、理事会で発言できなくても議決に参画する意義を伝え、安心して参加できるようサポート。

女性の活躍とその効果

Aコープの運営の改善点を提案

活動内容

- 女性理事はAコープの取締役を兼任。自身の経験や女性部を通じて把握した改善点（レジの接客、商品の陳列等）を店舗や支所に伝達。

効果：農業者の所得増大

- Aコープの利用者満足度に寄与。
- 包装の改善等についても意見が出されており、今後のコスト削減につながる事が期待されている。



3. JAむかわ（北海道）

Uターン就農の女性理事が地域PRで活躍

基本情報 ※2021年度時点

本所在地：北海道勇払郡むかわ町
正組合員数(うち女性数)：320人(22人)
役員数(うち女性数)：理事10人(1人)、監事3人(0人)

特徴

北海道の道央圏に位置し、南側は太平洋に面していることから、冬も比較的温暖であり、水稻やトマト、ブロッコリーなどの栽培が行われている。

取組概要

- Uターン就農の女性を理事として登用。JAや地域のPRを行っている。
- JAにおける女性職員の活躍により、地域でも女性農業者の活躍や登用が当たり前という風土が醸成されている。

女性登用・活躍までのポイント

多品目の生産で女性が活躍

- ・ JAが農家経営のリスク分散を推進し、水稻のほか、野菜等の多品目の生産が進展。選別などの作業で女性が活躍。
- ・ 営農計画の作成や会計管理を女性が担当する農家も多い。

JA内部でも女性職員が活躍

- ・ 役付き職員は男女半々。男性組合員にとっても活躍する女性が身近な存在となっている。

土壌

JAを見て組合員も女性活躍は当然という意識になったのでは。



JA幹部

女性登用の意義の周知

- ・ 地区別懇談会などのたびに、組合長が女性の活躍推進の意義を説明。

地域から女性理事を選出

- ・ 平成27年から継続的に女性理事を選出。
- ・ 女性の推薦枠はあえて作らず、本人の適正や人柄を見て、人物本位で選出。
- ・ 理事の年間活動内容・スケジュールを候補者に事前に示すなど、不安解消に努めている。

仕組み

女性の活躍とその効果

JAや地域の魅力を広く発信

活動内容

- ・ 女性理事は、理事会や委員会の出席等の一般の理事としての業務に加え、自身の知名度を活かして、新聞等の取材を積極的に対応。

効果：地域の活性化（地域のPR）

- ・ 組合員や消費者がJAや地域の魅力を知るきっかけにつながっている。

COLUMN

挑戦しなければ見えない景色があるはず

就農9年目で理事の依頼を頂いた時は、2代続いた女性理事を絶やしてはいけないと思い挑戦しました。組合員の目標である「農家の収益を上げること」に向かって理事として取り組み、学んだことを自身の経営にも活かしたいです。就農した時もそうだったように、実際に行ってみなければ見えない景色があるはずだと信じています。



成田 ゆかりさん
JAむかわ総務部長

椿理事は指導農業士として、新規就農の受入れにも積極的なことなどから推薦に至りました。理事には男性も女性も同じく、組合員の意見を幅広く聞き対話しながら、農協運営の方向性を打ち出していくことを期待しています。



椿 文子さん
JAむかわ理事。1994年、98年冬季五輪にショートトラックで出場した後、Uターン就農。

4. JAいちかわ（千葉県）

トップダウンで女性の登用や活躍を後押し

基本情報 ※2021年9月時点

本所所在地：千葉県市川市

正組合員数(うち女性数)：4,757人(1,218人)

役員数(うち女性数)：理事29人(4人)、監事6人(0人)

特徴

東京近郊の都市圏で交通網が充実した環境で、梨やニンジン、水稻などを生産。ドバイ・東南アジアに最高級品の梨を輸出。

取組概要

- JAの**理事長自らが、女性理事の登用や女性職員の活躍を後押し**。地域でも、女性を応援する雰囲気が生まれている。
- 女性の理事・職員や女性部が、**消費者との絆づくり**に取り組んでいる。

女性登用・活躍までのポイント

トップダウンで組織改革

土壌

- ・ 職員が仕事と育児を両立しやすい環境をつくり、女性管理職が増加。
- ・ コロナの拡大期には、全事業所で子連れ出勤の推奨、窓口の営業時間の短縮を行い、職員が安心して働ける環境をつくるとともに、残業時間の削減に貢献。

地域選出の女性理事が誕生

仕組み

- ・ 女性の経営主が地域代表として選出。農業や地域活動に意欲的に取り組み、地域からも信頼されている。

発言しやすい雰囲気の醸成

ひと

- ・ 理事長自ら、女性理事に対して、専門事項の解説や「まずは質問をするように」とアドバイス。

女性の活躍とその効果

消費者との絆づくり

活動内容

- ・ 生産者と女性職員の提案による「市川野菜」のブランディング、女性部による百貨店へのマルシェ出店など、「都市部でもおいしいものをつくっていること」をPRする活動を実施。
- ・ 女性理事が、農業女子プロジェクト（農林水産省）での活動事例や、女性農業者としての生き方を、地域の女性生産者や消費者に伝達。

効果：農業者の所得増大

- ・ 地域の農産物の販売促進、JAのファンづくり、女性の生産者の啓発につながる事が期待。

COLUMN

農協改革には女性の力が不可欠

イノベーションを起こし、先進的なJAをつくるためには、旧来の体質を改善し、女性の活躍を促すことが必要です。JAは組合員や地域住民との対話によって作られていくもの。組合員や地域との多様な絆をつくる存在として、女性の活躍に期待しています。



今野 博之さん
JAいちかわ理事長



小宮 寛美さん
JAいちかわ理事
農業女子プロジェクトメンバー

一人の農業者として組合員の意見を代弁していきたい

梨の農家に生まれて、2015年に経営主となり、果樹部会に出席するようになりました。理事の地区推薦の話が来た時は不安もありましたが引き受ける決心をしました。周りには後継者がおらず高齢で頑張っている先輩や苦勞をしている方もたくさんいるので、組合員が困っていることや改善してほしいことを、一人の農業者としてJAに伝えていきたいと思っています。

5. JA松本ハイランド（長野県） 人材育成を推進し、女性活躍JAの先駆けに

基本情報 ※2021年8月時点

本所所在地：長野県松本市
正組合員数(うち女性数)：25,080人(8,166人)
役員数(うち女性数)：理事45人(10人)、監事10人(0人)

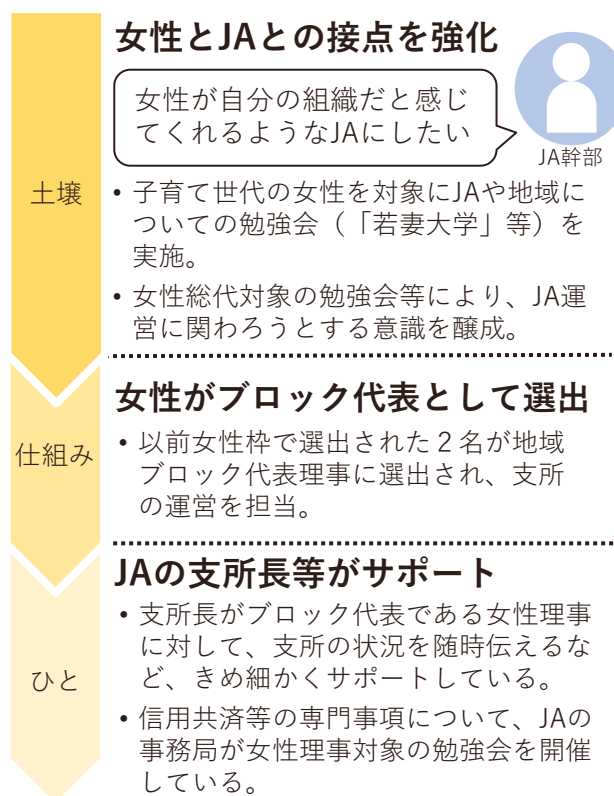
特徴

長野県のほぼ中央、アルプスのふもとと標高600m～1,000mに位置し、豊富な日照量と昼夜の温度差の中で清らかな水と大地の恵みを得た農産物を生産している。

取組概要

- **女性組合員、職員に学びや成長の場を提供**してきたことで女性活躍の土壌が築かれており、全国の女性活躍JAの先駆け的存在となっている。
- 女性理事などJA各組織の女性代表が集まる「**女性参画センター**」において、農産物の消費拡大、福祉サービスの充実など具体的な意見が出され、**JAの事業に反映**されている。

女性登用・活躍までのポイント



女性の活躍とその効果

消費者向けイベントの運営

活動内容

- ・女性理事が中心となって、生産者と消費者が交流する親子参加型のイベント「よい食パク博」を企画し、毎年実施（2019年度の来場者は1,123名）。

効果：農業者の所得増大

- ・農産物の販売促進や、JA松本ハイランドのファンづくりにも貢献。

福祉サービスの充実

活動内容

- ・JAが運営する老人ホーム、介護施設の運営に対して、女性理事が生活者の視点を活かしたアドバイスを実施。

効果：地域の活性化（インフラ強化）

- ・地域住民の生活の質の向上につながっている。

COLUMN

JAや地域の未来について考える場を作り続けたい

JA松本ハイランドでは、子育て世代の女性が協同活動やJAとの関わりについて学ぶ「若妻大学」を昭和47年に開講し、1,000人以上の卒業生を輩出しています。また、次世代の地域リーダー候補である若者を対象とした「協同活動みらい塾」、将来の管理職を見すえた職員向けの「人づくり塾」も行っています。組合員、JA役員など一人一人が、JAを知って、変えていこうという気持ちを持てるような場づくりを継続したいと考えています。



臼井 真智子さん
JA松本ハイランド組合員文化広報課長

6. JA内浦町（石川県） 内部登用で常勤の女性理事が活躍

基本情報 ※2021年8月時点

本所所在地：石川県鳳珠郡能登町
正組合員数(うち女性数)：827人(210人)
役員数(うち女性数)：理事11人(2人)、監事3人(0人)

特徴

トマト、ホウレンソウ、米などが特産品。海岸線沿い平野に位置している。

取組概要

- 男女の区別なくそれぞれが能力を活かして活躍する風土が醸成されている。
- 女性の常勤理事が経営全般や理事会での意見調整を実施。

女性登用・活躍までのポイント

適性での職員登用を推進

土壌

“小さくても輝くJA”として、地域に愛される存在になるために、男女の区別なく活躍することが必要。



組合長

- ・ トップの考えにより、男女の区別なく適性や希望に応じて職員を登用。

女性職員を常勤理事として登用

仕組み

- ・ 当時の組合長が、金融課長だった女性職員を2004年より常勤理事兼参事に抜擢。
- ・ 女性理事は当初、男性のみの理事会に初の女性として参加することに不安を持ったが、組合長より「後続く女性のために」と声を掛けられ、就任を後押し。

女性の活躍とその効果

JAの経営力・組織力向上に貢献



神田理事

小規模なJAだからこそ、地域の組合員の声を丁寧に聞いて、地域に信頼されるJAにしたい。

活動内容

- ・ 常勤理事として、営農、金融共済、総務、すべての委員会に出席し、経営全般に関わる活動を行っている。
- ・ 職員経験を活かして、理事会の資料をわかりやすく作成している。
- ・ 組合員や理事の声を丁寧に聞くことを心がけており、理事会で執行部と反対の意見が出たときの意見調整も行っている。

効果：地域の活性化（JA運営の活性化）

- ・ 職員経験を活かしながら、丁寧な気配りを行い、JAの経営力・組織力向上に貢献。

COLUMN

JAは農業だけでなく地域の生活を支える場

JAに勤めてみて、農協は農業だけでなく、地域の生活のためにあるものだと感じています。自分たちのふるさとを活性化させたいという想いのある人にとって、農協は活躍できる場です。女性が、組合員、生活者、職員などの多様な視点から意見を述べることで、より、よりよい地域づくりにつながると考えています。



神田美佐子さん
JA内浦町理事
参事も兼任

7. JAあいち尾東（愛知県） 登用の必要性を浸透させ、地域枠で6人登用

基本情報 ※2021年4月時点

本所所在地：愛知県日進市

正組合員数(うち女性数)：6,536人(1,648人)

役員数(うち女性数)：理事26人(6人)、監事5人(0人)

特徴

芽キャベツとケールの交配から生まれた新野菜プチヴェールを新たな特産品として売り出している。

取組概要

- 当初は**女性部からの推薦枠**を設置し、その後女性枠を廃止して**各地域から女性を選出**するよう登用の目標を見直した。
- 新たな**目標の検討段階から地域の組合員が加わる**ことで、JA側の一方的な要求ではなくなり、地域の話し合いによる**登用が円滑に進んだ**。

女性登用・活躍までのポイント

女性登用の必要性を広く浸透

女性登用は当然の時代。理事会にも職場にも多様性を！



JA幹部

- ・ JA幹部が男性理事や女性部に対して、女性登用の必要性を繰り返し伝達。
- ・ JA内でも女性職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、女性理事登用への機運を醸成。

土壌

女性の新規就農者の育成

- ・ 「女性のアグリスクール」を開講（2017年）。女性向けに栽培ノウハウや機械の扱い方、加工・出荷の研修を実施。
- ・ 卒業生はJAの直売所や近隣のスーパーに出荷する生産者にまで成長。

地域枠の女性選出目標を設定

検討段階から組合員が参加し、「皆で決めた目標」という位置づけに。



JA幹部

仕組み

- ・ 2011年に女性枠（女性部からの推薦）を設けて、女性登用を実現。
- ・ 2020年以降、管内6地域から選出される役員のうち1名以上を女性とする新たな目標を設定。

女性の活躍とその効果

組合員との橋渡し役として活躍

活動内容

- ・ 理事会や各委員会への出席、地域行事への参加、地域の組合員の意見集約・調整等を男女区別なく担当。
- ・ 地域の消費者からの意見（産直センターの店づくり等）を組合側に伝達。

効果：地域の活性化(組合員の満足度の向上)

- ・ 地域におけるJAの存在感を高めることに貢献。

COLUMN

愛知県内のJAでは、女性役員割合15%の目標達成に向け、2018年に女性登用の取組方針（下記）を決定し、各JAで次期改選に向けた検討を実施。これを受けて、JAあいち尾東では、上記のとおり、各地域から女性を選出する新たな目標を設定。

<女性登用の取組方針>

- ・ JAごとに次期改選期で「女性役員割合15%以上」とする目標を設定し、達成するための選出ルールを策定する。
- ・ 女性役員割合を増やすための方法として、①地域持回り選出等、地域選出の女性理事の増加、②地域選出の非常勤理事数の削減と全域の女性理事枠の増加、等を推進する。

8. JA紀南（和歌山県） 組合員の生活や職員の働き方改革に貢献

基本情報 ※2021年12月時点

本所所在地：和歌山県田辺市

正組合員数(うち女性数)：9,629人(3,499人)

役員数(うち女性数)：理事46人(9人)

監事12人(1人)

特徴

梅とミカンが主な取り扱い品目で、CHOYAへの出荷など、加工事業が営農経済部門の収支を大きく支えている。

取組概要

- **トップの推進力で、女性正組合員数、総代数を着実に増やし、女性理事の登用に結び付いた。**
- 女性理事の意見から、**高齢者が利用しやすい移動スーパーの導入やJA内の働き方改革**に結び付いた。

女性登用・活躍までのポイント

トップダウンで女性の参画を推進

地域には男性も女性も半々いる。多様な意見を聞くことはJAの運営にとって大切。



JA幹部

土壌

- 組合長をはじめとする経営層が多様性を重視する考えを持ち、積極的に推進。
- 女性役員の登用には、女性正組合員の増加が不可欠なため、男性正組合員の妻に加入してもらうよう働きかけを実施。
- 結果として、女性の正組合員率は35%にまで向上。

役員推薦の選考委員に女性を選出

- 女性の理事候補者の選出を円滑にするため、選考委員に女性を選出できるよう要領を改正。最終的に、女性理事の占める割合が19.5%となった。

仕組み

女性会及び地域から選出

- 地域選出の女性は、大半が認定農業者（準ずる者を含む）。

女性の活躍とその効果

移動スーパーの導入

活動内容

- 理事会において、Aコープ店舗事業や直売事業に関する意見が多くなり、議論が活発化。
- 特に、女性理事が、「ネットスーパーは高齢者から使いにくい」という意見を聞いていたことから、移動スーパーの導入を提案し、実現。



効果：地域の活性化（インフラ強化）

- **組合員の生活の質や満足度の向上**につながり、災害時にも活躍。

職員の働き方改革

活動内容

- 女性理事が**働きやすい職場づくり**を進めるよう意見を出したことにより、JA内で女性職員が産休・育休を取りやすい雰囲気を作られ、男性職員も育休を積極的に取得。

効果：地域の活性化（JA運営の活性化）

- 職場全体で業務の効率化の意識が高まり、残業代の削減に貢献。

9. JAえひめ未来（愛媛県） 女性の消費者視点を活かした直売所の運営

基本情報

※2021年時点

本所所在地：愛媛県新居浜市
正組合員数(うち女性数)：5,858人(1,791人)
役員数(うち女性数)：理事28人(2人)
監事6人(1人)

特徴

豊かな水源をもつ都市郊外の平野で、米や里芋、ナスなど多品目を栽培

取組概要

- JAで管理職を経験した女性を理事に、産直に取り組む女性を参与に登用。
- 直売所「ときめき水都市」は「女性の生産者が消費者の声を直接聞いて活躍できる場」と位置づけられ、**消費者視点が常に意識**されている。

女性登用・活躍までのポイント

女性活躍の場づくり

“女性が表に出て活躍する場の提供”が直売所の開設時のコンセプト。



JA職員

土壌

- 1991年に直売所「ときめき水都市」を開設。女性の生産者が中心となり、施設の建設や店舗づくりを実施。全国有数の直売所として地位を確立。
- 現在、定期的な出荷者の6割が女性。消費者に喜ばれる新鮮で種類豊富な野菜等を出荷。

JAで管理職を経験した女性を理事に登用

- JAで管理職を経験し、定年退職した女性を理事に登用。JA事業に精通しているだけでなく、地域の女性のリーダーとして活躍。

仕組み

産直で活動する女性を参与に

- 女性の生産者の意見を反映するため、女性の生産者1名を参与に登用。



水の都といわれる西条市の中心に位置する「ときめき水都市」。女性の声を反映させてリニューアルを予定。

女性の活躍とその効果

消費者ニーズに対応した直売所づくり

スーパーと競争が激化しており、お客様が本当に欲しいものを提供したい。



JA職員

活動内容

- 「ときめき水都市」では、女性の生産者が中心となり、消費者の健康志向やアレルギーに対応できるよう、米粉製品を開発・販売。
- また、傷があるなどの理由で廃棄される野菜を使った総菜を女性自らが製造、販売。

効果：農業者の所得増大

- リピーターの増加や客単価向上といった販売促進に貢献。
- 廃棄の可能性があった農産物を活用することでコストを削減。

介護経験を活かした助言

活動内容

- 介護経験のある女性理事が、JAが運営する介護施設の改善点等について日常的にアドバイス。

効果：地域の活性化（インフラ強化）

- 地域住民の生活の質の向上に貢献。

10. JA糸島（福岡県） 女性部へのサポートが女性のJA参画を促進

基本情報 ※2021年10月時点

本所所在地：福岡県糸島市
正組合員数(うち女性数)：5,417人(1,591人)
役員数(うち女性数)：理事20人(2人)、監事5人(0人)

特徴

福岡都市圏内の人気観光地。年間を通じて多種多様な農産物を生産している。

取組概要

- JAのサポートのもと女性部で長年活動してきた女性が、次のステップとして、理事の立場で直売所「伊都菜彩」の運営に携わっている。また、女性理事等が甘酒ジェラートを開発・販売し、直売所の来客数や売上の増加にも貢献している。

女性登用・活躍までのポイント

JAが女性部をサポート

女性部の活動や暮らしを、JAがサポートしてくれる。



女性部員

- JAが、女性部の活動拠点となる加工施設や、女性部員の長年の願いであった介護施設を開設。
- 女性部の活動等を通じて、JAや地域への貢献意欲を醸成。
- 女性理事や女性部長の経験者等が結成した「あぐりくらぶ」も若手の女性部員の活動や地域への発信をサポート。

土壌

女性部の話合いで理事を推薦

- 女性枠を設置。女性部内の話合いにより意欲のある方を理事に推薦。

仕組み

女性の活躍とその効果

新商品で直売所の売上増加に貢献

コロナの影響で来店者数が減少。地域食材を使う新商品で盛り上げたい。



伊都菜彩の職員

活動内容

- 女性理事は伊都菜彩の運営委員会に所属。
- 伊都菜彩からの要望がきっかけで、あぐりくらぶの部員とともに、甘酒ジェラートを開発し、伊都菜彩や近隣のコンビニで販売。



糸島の女性が作り続けた米麹がベースの甘酒ジェラート

効果：農業者の所得増大

- 直売所の売上増加に貢献。



売上高が全国一に輝いたこともある直売所「伊都菜彩」。約30年前に女性部員たちが立ち上げた朝市・夕市が前身。

COLUMN

JAのおかげで自身も成長してこられた

専業農家に嫁ぎ、農業の仕事だけではなく社会との接点を持ちたいという気持ちで、JAの女性部の活動を続けてきました。JAのおかげで、農業や地域の将来について考え続けて、自分自身も成長して来られた気がしているので、今度は私が理事として恩返しする番です。



平野 美代子さん
JA糸島理事

11. JAあいら（鹿児島県） 新商品の提案や農業者の育成により売上増加

基本情報 ※2021年6月時点
本所所在地：鹿児島県霧島市
正組合員数(うち女性数)：7,381人(1,423人)
役員数(うち女性数)：理事18人(2人)、監事6人(1人)

特徴
空港や高速道路網などで県内の流通の要の地域であり、生産地域と都市地域の両方を持つ。
鹿児島黒牛が最も多いほか、米、霧島茶の栽培も盛んに行われている。

取組概要

- 地域に必要とされるJAをめざして、組合員との対話活動を行うほか、**女性向けイベントの開催**にも積極的に取り組んでいる。
- **女性理事や女性職員が新商品の提案や農業者の育成**に取り組み、Aコープやスーパーのインショップの**売上増加に貢献**している。

女性登用・活躍までのポイント

組合員との対話活動の実施

「JAに相談すれば応えてくれる、地域の頼れる存在に。」



JA幹部

- 組合員全戸訪問を行い、意見すべてにフィードバック。女性を含む組合員から「必要な組織」と評価される割合が全国平均を大きく上回る。

親しみを感じる 必要な組織

全国平均	6.4	6.5
JAあいら	7.2	7.6

※回答者は正組合員。2017年JC総研実施

- 地域の女性を対象にしたイベントを積極的に開催し、女性部やJAへの加入から、正組合員→総代→役員へのステップアップにつなげるよう意識。

JA内部で女性職員が活躍

- 女性若手職員が中心となって、JAあいら販促隊を結成。イベント等で農畜産物のPR活動を行っている。
- 女性管理職比率は18%と高水準。

参与制度の導入

- 2011年の改選で女性参与2名を登用。

参与から理事への就任

- 翌期の改選において、女性参与2名が理事に就任（これに伴い、参与制は廃止）。以降、女性理事を継続的に登用。

女性の活躍とその効果

新たな商品・販売方法の提案

活動内容

- 女性理事が女性酪農家グループ「始♡LOVE和牛女子」を結成し会長に就任。
- Aコープで新たにブロック肉の販売を提案。ローストビーフ等のレシピを作成し、肉とセットで販売する工夫により早期完売する人気商品となっている。



効果：農業者の所得増大

- Aコープの売上増加に貢献。

営農塾の企画・運営

活動内容

- 2016年より開催している「営農塾」では、女性職員が企画・運営、女性営農指導員が講師を担当。
- 受講者は女性農業者も多く、営農塾の卒業生からスーパーのインショップへの出荷者も増加。

効果：農業者の所得増大

- 営農塾の開塾以来インショップの販売高は毎年増加。

インショップ販売高

(億円)

